

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
北海道鍼灸専門学校	平成13年4月1日	原田 泉	〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条6丁目5-10 (電話) 011-642-5051		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 北海道鍼灸専門学校	平成18年12月1日	理事長 笠井 正晴	〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条6丁目5-10 (電話) 011-642-5051		
目 的	学校基本法及び学校教育法に従い、地域医療を担う視野の広い豊かな人間性を有する鍼灸師を育むことを目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療専門課程	鍼灸科	3年(昼間部)	2445時間 (又は146単位)	平成6年文部省告示第84号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	1860時間 (又は124単位)	30時間 (又は2単位)	60時間 (又は4単位)	45時間 (又は1単位)	450時間 (又は15単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人	45人	7人	7人	14人	
学期制度	■前期：4月1日～9月31日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ①各科目出席率70%以上、実技については80%以上。 ②成績、提出物、授業態度等を総合的に判断し100点満点中、85点以上を「優」、70～84点を「良」、60～69点を「可」、59点以下を「不可」とする。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月20日～1月10日 ■春 季：3月21日～3月31日		卒業・進級条件	進級条件：その年度で履修すべき全ての授業科目を履修し、単位を取得すること。 卒業条件：開講される全ての科目を履修し単位を取得すること。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 クラス担任による面談を行い、心身のサポートや経済的支援に関する相談等に対応している。また、保護者・保証人等と連携を取り、安定した修学ができるよう努めている。		課外活動	■課外活動の種類 学会参加、夏期治療院研修等 ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 病院、治療院等 ■就職率 89.5% 2014年4月20日時点		主な資格・検定	はり師国家試験受験資格 きゅう師国家試験受験資格	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率2.2%</p> <p>平成26年4月 1日在学者 46名（平成26年4月入学者を含む）</p> <p>平成27年2月27日在学者 45名（平成27年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>健康上の理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>クラス担任による学生相談及び、学校独自の奨学金制度、学費納入分割等で就学支援を行っている。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL:http://www.shinkyu.ac.jp</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

近年、雇用・労働を巡る環境の変化、知識・技能や人材需要の高度化、職業の多様性が進む中、専門学校教育においては、キャリア教育、職業教育を通じて、自立した職業人を育成し、社会・職業に円滑に移行させる役割が求められている。本校では、教育課程を編成するにあたり、企業と連帯した教育課程編成委員会を編成し、より実践的かつ社会に求められる人材育成を目標とした教育課程の編成を行っている。

目標

- 「礼節とこころ」を中心とした人間教育
- 自立した職業人を育成するための実学教育
- 社会に貢献するための職業教育

授業内容、方法の改善、工夫等について

3学年の本校では、1年次で職業における基礎知識、基礎技術の修得を目的とした授業編成を行い、早期の基礎技術、基礎知識の修得に努めている。2年次では、より実践的かつ高度の技術修得を目的とする為に、開業している鍼灸師を非常勤講師とした実技教育を行っている。3年次では、自立、職業教育を目的とした、臨床実習、社会学といった教科を開講し、修得した知識、技術の実践を行っている。また、社会・職業に円滑に移行するために、職能団体が開催する学術講演会に年に4回、卒前教育を3回行い、実践的かつ社会に求められる人材育成に励んでいる

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

名 前	所 属
川浪 勝弘	北海道鍼灸専門学校 教頭
二本松 明	北海道鍼灸専門学校 教員
大湊 隆次郎	北海道鍼灸専門学校 兼任教員 ・ 北海道鍼灸師会 会長
稲垣 吉一	北海道鍼灸専門学校 兼任教員 ・ ほねつぎ鍼灸金剛院 院長
星野 喜一	北海道鍼灸師会 副会長
森 敏郎	もり鍼灸治療院 院長
齊藤 正樹	正樹鍼灸整骨院 院長

(開催日時)

第1回 平成26年11月16日 21:30~22:00

第2回 平成27年3月18日(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

授業科目担当教員と連携する企業からの講師が実習前に事前の打合せを行い、実習内容、学生の学習成果の達成度評価指標等を決定する。また実習期間中は、科目担当教員と講師が連携しながら実習を行う。実習終了時には、企業の講師による学生の学習成果の評価を踏まえ、成績評価及び単位認定を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
はり・きゅう実技	連携する企業から鍼灸師を招聘し、本校教員と共同して実習を行い、実際の現場に基づいた実技実習を行うことを目的とする。	北海道鍼灸師会
社会はり学・きゅう学	本校と連携する企業である北海道鍼灸師会が主催する学術講演会に参加し、新しい鍼灸技術・知識等の習得及び北海道鍼灸師会に所属する開業鍼灸師による臨床の現場の実際と現場のニーズに応じた治療方法の実技の修得を目的とする。	北海道鍼灸師会

臨床実技	連携する企業から鍼灸師を招聘し、本校附属臨床施設において本校教員と共同して実習を行なう。また、実習において課題を提示し実習終了後、カンファレンスを行う。	北海道鍼灸師会
------	--	---------

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校教員研修規程では、「必要と認めるときは、他の機関と共同して又は外部の機関に委託して研修を行うことができるものとする。(本校教員研修規程第4条3)」とされている。このため、連携する企業である北海道鍼灸師会の学術講演会を中心とした研修会への参加に努めさせる。学術講演会の講演講師の選定に関して本校と共同で行い、鍼灸業界の最新のトピックや現在の最新の医療についても学習できるようにしている。さらに鍼灸学、医学に関する学術大会への参加に努めさせる。研修後は研修内容について研修実施結果報告書を提出させ、他の教員と知識・技能の共有を図る。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

名 前	所 属
星野 喜一	北海道鍼灸師会 副会長
森 敏郎	もり鍼灸治療院 院長
齊藤 正樹	正樹鍼灸整骨院 院長
林 紀博	はやしハリきゅう整骨院 院長・本校卒業生
小林 貴法	北海道柔道整復専門学校 教員

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.shinkyu.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.shinkyu.ac.jp>

授業科目等の概要

(職業実践専門課程鍼灸学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
	○		自然科学	1年次では物理、生物、地学(宇宙)の分野の中の物理学、具体的には「物理療法」について学習する。3年次では「電気治療器」についての学習と実際の治療法に生かせるように電気治療の基礎を学習する。	1・3年前・後期	90	6	○		
	○		社会科学	現在社会(世界、日本)に発生している諸問題、出来事について、正しい知識を得て研鑽し、自分の考えを持つよう学習する。数値的データも含め、現代の社会情勢を学習する。	1年前・後期	30	2	○		
	○		人文科学	人間学(簡単な心理学)と古代中国科学(中国医療)の誕生から前期(漢代)までを述べる。根底には宇宙観・世界観・自然現象・宗教観などを媒介に人間の苦しみや病を克服しようと試みた古代人の功績をたどる。	1年前・後期	60	4	○		
	○		外国語	鍼灸の基本的な用語の英語表現について学ぶ。また、中国医学との比較について学ぶ。臨床場面を想定し対応力を学習する。	1年前・後期	30	2	○		
	○		解剖学Ⅰ・Ⅱ	解剖学は医学全般の根本的基盤となる教科である。解剖学Ⅰでは運動器系の構造と機能を、解剖学Ⅱでは神経系、感覚器系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌系について学ぶ。正常状態での生体を構造的に正確に捉える能力を培う。	1年前・後期	180	12	○		
	○		生理学Ⅰ・Ⅱ	生理学は正常状態での生体の機能について学ぶ学問である。生理学Ⅰでは、細胞、神経系(末梢神経系、中枢神経系)の機能、自律神経系の機能、血液の機能、心臓や血管、呼吸器、消化器の機能について学習する。生理学Ⅱでは、体温調節、腎臓や泌尿器系の構造と機能、内分泌系(ホルモン)の分泌と作用、生殖機能と老化、神経について主に運動神経、感覚神経の機能、筋の運動について学習する。	1年前・後期	150	10	○	△	
	○		人体機能学	運動器疾患についての基礎知識を習得する。疾患ごとの病態生理、障害のメカニズムについて解剖学的に考察する。各疾患に関与する筋肉を触診する。	2年前・後期	75	5	○		
合計			科目	単位時間 (単位)						

授業科目等の概要

(職業実践専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
	○		病理学概論	病気の本態を理解するために、体全体に共通してみられる基本的病変を、その原因とともに学習し、それにより起こる身体の変化について学ぶ。	2年前・後期	60	4	○		
○			臨床医学総論	患者に対する医療面接技法や全身的及び局所的ならびに系統的な診察法を習得すると共に、臨床検査法や基本的な症候についても十分に理解し、疾患の診断や治療法を学ぶ上での基礎的な知識を学習する。	2年前・後期	90	6	○		△
○			臨床医学各論	西洋医学の枠組みに則り、各領域の代表的な疾患についてその概要を学ぶ。解剖学、生理学などの知識を関係づけながら、「どこにどういう異常があるからこういう病態が生じる」というような、筋道だったもの見方、考え方を学習する。	2年前・後期、3年前期	180	12	○		
	○		衛生学・公衆衛生学	個人の健康、集団の健康に影響を与える要因について学ぶ。予防医学の重要性を学ぶ。	3年前・後期	60	4	○		
	○		リハビリテーション医学	「障害学」、「医学的リハビリテーションの具体的内容」、「運動学」を学習し、リハビリテーションの考え方、哲学を医学的に実現する方法を学習する。	2年前・後期	45	3	○		
	○		医療概論	施術者、医療関係者として知っておかなければならない現行の医療システムと倫理、その他の問題点(インフォームドコンセント、QOL、バイオエシックス等の概念)について学ぶ。	3年前・後期	30	2	○		
○			関係法規	「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」は、施術者の身分に関係するもので、業務を適切に行うことができるようにすることを目標とする。 「関係法規」では、現代の医療制度の法的根拠を指導するとともに、患者を取り巻く福祉環境についての基礎的な内容を学習する。	3年前・後期	30	2	○		
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(職業実践専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			はりきゅう理論	鍼灸治療では患者に鍼や灸をするときに、①どこへ（部位）、②どのように（道具、刺激方法）を選択する必要がある。その際、それぞれにどんな特徴があるかを知ることは効果的な治療を行うためにも重要である。また、鍼灸刺激が生体にどんな影響を及ぼすのか、それはどのような仕組みによるものなのかを学習する。	2年前・後期	60	4	○	△	
○			東洋医学概論	鍼灸の技術は、東洋医学における治療手段のひとつとして育まれてきた。鍼灸を学ぼうとする私たちにとって、東洋医学の姿を理解することはことのほか重要である。本講ではその導入として、東洋医学の基本的なものの考え方、人体観、疾病観、診断論、治療論の各項目について、その概要を講義する。	1年前・後期	120	8	○		
○			経絡経穴概論	鍼灸医学の基礎である、経絡や経穴について学ぶ。正経十二経脈や奇経八脈の概要、経穴の基礎知識（名称、所属する要穴、取穴部位など）を学習する。正経十二経脈や奇経八脈の概要、要穴の種類と特性、経穴の名称や取穴部位などを覚え、代表的な経穴の取穴を行うことができるレベルに到達する。	1年前・後期	105	7	○		
○			東洋医学臨床論	現代医学的な診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習する。特に遭遇しやすい症候、疾病に対して東洋医学的視点と現代医学的視点を総合し鍼灸治療の実際を学習すること目標とする。	2年前・後期	120	8	○		△
○			臨床経絡経穴概論	1年次で学んだ経絡経穴の知識を基に、人体での取穴を中心とした臨床的な知識、技術を学ぶ。	2年前・後期	60	4	○		△
○			臨床東洋医学	東洋医学概論、東洋医学臨床論で学んだ内容を基礎に鍼灸治療で行う弁証（症立て）、選穴の実践を行う。	3年前・後期	45	3	○		△
合計				科目	単位時間（単位）					

授業科目等の概要

(職業実践専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			社会はり学・きゅう学	はり師きゅう師を志すものがこれから必要になるであろう社会での役割について学ぶ。本校と連携する企業である北海道鍼灸師会が主催する学術講演会に参加し、最新の治療技術、知識の習得。はり師きゅう師と他職種の間連について知り、社会の中でのはり師きゅう師の役割について学ぶ。	3年前・後期	30	2	○		△
○			はり・きゅう実技	はり師・きゅう師に必要な鍼による基本実技灸による基本実技を知り、正確かつ安全に身体へ施鍼・施灸することができるよう知識・技能を学習する。	1・2・3年前・後期	450	15	○		△
○			臨床実習	臨床能力を養う総合実践の科目で、対象者(患者)に対し臨床形式で実施するクリニカルクラークシップ型総合実習である。医療面接技法、診察、鑑別検査を確実に身につけ、安全で確実な処置の修得を目指す。また、実習後の診療録の記載、提出を通して、客観的で的確な高い診療録を作成するための経験を積む。	3年前・後期	45	1			○
○			総合領域Ⅰ	鍼灸治療において必要な医療面接や徒手理学検査、神経学的検査、鑑別学の知識、技能の習得を行う。	3年前・後期	75	5	○		○
○			総合領域Ⅱ	医療面接や身体診察により得られた情報から鍼灸治療の適、不適について鑑別しそれに応じた治療方法の知識の習得を行う。	3年前・後期	75	5	○		
○			総合領域Ⅲ	1～2年次に習得した講義科目の総復習を行い、国家資格取得のための知識の教授をはかる。「生理学」を中心に「臨床医学総論」、「臨床医学各論」、「はりきゅう理論」の内容の総復習を行う。	3年前・後期	75	5	○		
○			総合領域Ⅳ	1～2年次に習得した講義科目の総復習を行い、国家資格取得のための知識の教授をはかる。「解剖学」を中心に「リハビリテーション医学」、「東洋医学臨床論」の内容の総復習を行う。	3年前・後期	75	5	○		
合計			27 科目		2445 時間 (146 単位)					